

# 小學校と幼稚園との連絡問題

東京市鐵砲洲尋常小學校長  
同 幼稚園長

久保田 龜藏

私達の仕事は直接には幼児の教育であるけれども、其子供は單獨なる存在ではなくて、家庭の子供であり郷土の子供であるから、家庭や郷土を考へぬ幼児教育は有り得ない。

又子供は外界の状況より受ける影響が非常に大なるもの故小學校及幼稚園内の環境を完全なものにし、子供を其中で生活させることが大切な條件である。

然るに従來教育者の考が狭かつた爲めに、教育の對象を單なる子供と見て、それだけに力を用ひたから、比較的効績が擧らなかつたのではあるまいか。

小學校と幼稚園とが同一の場所に設置されて、同一方針のみに教育するならば、學園全體を通じて一大調和せる學園内社會を先づ職員間に於て作るべきに、往々にして職員相互の圓滿を缺き統一を失ふところのあるは、教育者自身が團體精神を充分に會得せぬ爲め、更に一面には幼稚園の普及が比較的後れたにも係らず組人數少く教育方法が自由で進歩的であるに由るのではあるまいか。

總て物事は幾多の事情が關聯して生ずること故、小學校と幼稚園との連絡にて單に一部分的の考察や施設だけでは解決は出來ぬ。即ち其根元を存する處の教育の本質を究め更に其關係ある學園内外の調和統一を圖らねばならぬ。通學區域を對象とし學園が中心となつて其土地の總ての人に教育を施すといふ考のみに努力するところに眞の教育は行はれる。

## 第一 教育の仕事

### 一、教師は自己完成に努むること

大學に「修身齊家治國平天下」を教へられた様に教育の道は「教育者自らの修養」を第一と心得ねばならぬ。完成された人格者にして始めて教育者たり得るものであるが、然し我々は現在教育の職にある。これは非常に苦しいことで、毎日子供に接しては其苦しみを慙愧を感じつゝ止むなく勤めて居る故に修養に修養を重ねて、この不完全を少しでも完全の域に達せんものと努力精進して漸く責をのがれ心を慰めてゐるわけである。又子供は成長伸展の旺盛なもの故教師もそれに伴ふ發展を圖りつゝあるものでなければならぬ。不完全さに於ては子供よりは僅かに調つた程度であつても價值創造には日夜苦心して其進歩の著しい先生でなければならぬ。

斯様な先生達で作られた學園は理想的なもので、其中に子供を入れれば子供は自然に大きく伸びるけれども若しも職員の修養足らず小さく固まつて惰性生活に日々を過す様では人を教へ導く資格がない。

故に私は本問題の眞諦即ち教育の眞髓は教師の修養にありと痛感するものである。

### 二、實踐指導に努むること

幼少年時代の未發達期には何事も批判なしに模倣して之を身に行ふものであるから、親や教師は一言一行に最大の注意を拂はねばならぬ。自分の缺陷から思ひがけぬ事の子供に及んだのに驚くことが度々ある。實に恐ろしいものである。故に教師は常に注意してよい手本を示す様心がけ自然々々感化誘導すべきである。

小學校や幼稚園は子供達のよい遊び場でありよい仕事場であり、先生はよいお友達でありたい。私達先生はありのまゝの姿でよい指導者であり、よいお相手でありたい。狭い小さい考から「計ひ」をなしたり無理強いを爲して壓迫する様では

子供の純眞を害ふことが多く眞の教育は出来ない。

「子供の生活を生活によつて生活に導く」といふことは實に味のある語で、それには「よく整つた先生が子供の仲間入りをして共に生活するのが最もよい。親和せる家庭で立派な親の手元で育つた子女は必ず善良有爲の人となる様に、學園の良風よよい先生によつて指導された子供にして始めて人格の完成を爲し得るものである。

### 三、先づ其の子を知れ

自分の現在教へつゝある子供はどんな子供であるかを充分に知つた上でなければ適當な指導は出来ぬ。天性と特異性を知る爲めに種々の方法を講ずるが、過去の經歷を調べてこの子の現在の姿を知るのも一方法で更に將來の方向まで豫定した上教育方針を決定せねばならぬ。

若しも其子の過去及將來を考察せずに單に教師の獨斷的方针に依つて其時だけの教育を爲せば、其効果擧らぬ許りでなく將來を害ふに至る。即ち幼稚園では少くも從來の家庭生活と現在の家庭環境とを考へ更に満了後小學校一年生の狀況をも考へて現在の教育を爲すべく、小學校では幼稚園時代の狀況と現在の家庭環境とを考へ更に卒業後の方向迄も考へて現在の教育を施すのが當然なる仕事である。

ところが學園教育は一人の子供に對して幾人かの教師が手をかけるから従つて學園には全期間を通して一貫せる方針があつて、然も其時々指導の任に當る者はよく前後の見通しを立て相關聯した教育を爲すべきである。

若し出来得るならば教育の始期より終了迄同一場所同一方針によつて營むのが得策である。兎に角幼稚園と小學校とが別々に考へる様では到底教育は出来ぬので、其子の一生を通じて縦の連絡の大切なことは明瞭である。

## 四、學園中心の教育

子供の生活は單に學校幼稚園許りではなく、むしろ大部分は學園外であるから、教育の徹底を期する爲めには各家庭及其の郷土の向上發展を圖り、子供の棲む社會をよりよき社會たらしめることが必要である。學園内で如何に立派な教育を施さんとして一歩門外に出れば、或は家庭に歸れば忽ち教育を破壊される様では致し方が無い。故に學園は其土地の中心となつて家庭の改善、母の教育卒業生の指導、郷土の文化發展等に迄力を注がねばならぬ。

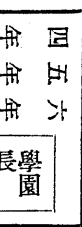
即ち子供の教育を中心として家庭郷土に連絡を密り親和を圖り相提携して理想實現に進まねばならぬ。このことは随分重荷であつてそれが爲めには學園の教育が空疎なる様に思はれるが然し、よく考へて見れば土地の人々が皆協力一致して教育に力を用ひるから決して學園内の教育が疎かになるものではない。其初めに於ては随分努力を要するが次第によくなる。要は學園内外共に力を一にして熱心に取掛るこゝにある。

## 第二 連絡の實際

### 一、職員

#### 1、職員室

職員の擔任事務や晝食は各教室又は保育室で子供達と共に居ながら執るが、全職員の會合又は一部分の會合には職員室を使用する。



各職員の座席は次の如く配置し、前後の學年擔任は常に隣り合ふて打合せに使う。

#### 2、會議

職員會議は全職員列席して全學園の事柄を協議す(小學校と幼稚園との區別をせず)。

部分的會議は其目的に應じて定期又は隨時行ふ。其主なるものは次の如し。

全職員會議 一週一回 水曜日

各學年會議及保姆會議 一週一回

學年主任會議(主任保姆列席) 二週一回

低學年打合會(保姆列席)

中學年打合會

高學年打合會

月一回

訓練會議(主任保姆列席) 月一回

各學科研究會(保姆列席) 月一回

3、相互參觀

一年さ幼稚園とは特に參觀を主視し訓練方面の打合をなす。

4、職員親睦會

全職員これに入會し訓導保姆の區別をせぬ。

二、設備及備品

1、學園内の設備及備品は皆共通にして、互に譲り合つて使用する。但し購入及管理等は別途なるも取扱ひに於ては何等の區別をせず。常に學園全體から見て適當に處理す。購入に當りては特に全體より見て不便なき様考慮する。

2、運動場及各室廊下等學園内一切の使用は幼稚園も考慮して時間割を作製し全部に互つて都合よく配當す。唱歌室、理科室、手工室等も園兒に使用させる。

3、特に幼學年生及園兒は小公園の使用を多くし、廣い場所外氣日光にふれさせる様仕向ける。

### 三、學園内の社會生活

1、學園全體の子供は互に親しみ合ひ助け合ふて、億兆一心の精神を涵養する様に努める。

特に幼弱者に對しては弟妹の如き考を以て勞はり、登校下校の際は勿論、學園内に在る間も常に親切に世話する様仕向けてゐる。時に上學年兒が作業をなす場合に幼學年兒及園兒等集り來ても其仕事に支障なき限り其まゝに放任しおきて之を見習はせる態度をさる爲め園兒を邪魔扱ひは決してせぬ。極めてなごやかなり。

2、學園内の教育大方針は一定にして何れの學年も之を守り、其學年、年齢、智能等によりて其時々に適する方法を講ず。即ち園兒に對しては遊びを主として自由快活たらしめ、一二學年に及んで漸く團體的動作を加へ、三四學年に鍛鍊的行動、五六學年に自治自律の完成を期する様定めて全職員この大方針に従ふ故子供等も皆段階をふんで成長する。

3、當園滿了生は入學以前既に特殊の教育を受けたもの故、これだけで一學級を編成す。この編成法は相當議論のあることなれども種々の點より考へて、それが一番效果的なりと信じて行つてゐる。従つて幼稚園學級に對しては特別な指導を行つてゐる。殊に入學當初一學期間は全然違つた取扱をなしてゐる。當校では幼稚園の設立日尙淺い爲め現在は三學年生まであるから充分な比較研究は出來上らねど兎に角幼稚園組は一般的に自發的で進取的で快活で自治の精神に富んでゐる様である。

4、幼稚園では一組五十人を二人の保姆が指導するけれども小學校に入るに他園滿了生を加へて六十人を一人の教師が擔當するから自然と統制ある生活を一層行はねばならぬ處から、滿了期に及んだ第三學期には餘程一年生の生活に似通つた生活を營ませて其間の取扱を圓滿にする。

5、學園内の兒童幼兒の服裝は一定してゐる。其目的や效果は種々あるが、團體精神涵養の上にも多大の便があると思ふ。即ち小學校では男子は學生服に帽章、女子は外被に校章、幼稚園では外被を定めてゐる。

たゞ小學校と幼稚園とは地質色合に差異あるだけで形は一様である。將來は職員も皆一定の服裝にしたいと思つてゐる。それは學園が一つの信賴する處であり、職員も兒童も土地の人も皆自分の學園としての誇りを感じる時必ず何等か特に異つた標識を欲するに至るもので、この點は非常に重大なこゝである。

6、學園内の行事は全部一貫せる方針のみに實施され、協力一致して團體精神(鐵砲洲精神)を體得させる。運動會、學藝會、映畫會、節句會等には夫々幼稚園も必ず参加する。又幼稚園だけの行事には低學年を招待して共に楽しむ、儀式に就ては第一學期だけは別々に行ふも第二學期からは全部同一に行ふ。これは幼兒に對して多少無理な様にも思はれるが然し式の方法を考慮すれば一向差支がない。これによつて幼時より國民精神を養ふこゝが出来るので斷行してゐるが成績甚だ良い。

#### 7、學園外の施設。

學園外の各種の施設は統制あるものでなければならぬ。即ち保護者會後援會は人格高く熱心な人を選んで會長とし學園長と提携携して單に兒童教育許りでなく土地の一切に迄關與するの様に企てゝゐる。即ち保護者會長は一切の會長を兼務して其事業を圓滿にし發達させる様努めてゐる。この事は至難の様だが學園長さへ堅い信念のみに經營すれば出來得る。

1、保護者會 常に學園と親密にし學園の教育方針を理解し協力する。従つて學園に來て授業の參觀するは勿論學園の行事には必ず参加して共に教育の進展を圖る。

ロ、母の會 毎月一回例會を開き子女の教育、母の修養、家庭改善、土地の文化發展に努力する。子女の教育や社會問

題は母の力によるこゝが一番よい。毎月百餘名會合して修養ミ社會事業ミに實際運動を爲し來つた當校では其功績大なるに驚く。

ハ、同窓會 保護者、母の會の援助によつて毎年二回總會を開くが、特に幹部級のもの三十名は毎月集會して青年の修養につこむ。男子部は夜七時から九時迄、女子部は午後四時から六時迄ミして互に定日を異にしてゐる。

ニ、男女青年團 學校青年團は同窓會幹部會を其中心ミなし同一なるものミ見做してゐる。

ホ、敬老會 既に老年に達したる七十歳以上の人に對しては學園及保護者等が慰安的行事を營み特に招待して半日の樂しみを得させ、若き人々をして謝恩の念を實地に現はせる様努める。

ヘ、學區域内の青年團、在郷軍人會、防護團、衛生會、町會等一切の社會事業にも學園は力を致して共々に土地の爲めを圖り、校舎園舎は成るべく自由を使用させる様取計ひ、以て教育の充實を期してゐる。

教育の事業は遠大で未だ何一つ充分で無いが著々完成すべく職員一同盡力してゐる爲め、其理想大きく各自の責任亦大なる處から自然ミ小學校幼稚園なごゝ區別なごせぬ。この點當校では些か問題にしてゐない。